

みえるらべる 優良事例集 ハンドブック

令和7年3月



MAFF
農林水産省

目 次

<u>1. はじめに</u>	 2
(1) 環境負荷低減の取組の「見える化」とは	
(2) 本事例集の目的	
(3) 取組事例の全体像	
<u>2. 事例の紹介</u>	 4
(1) 幅広い流通網を活かして全国へ展開 株式会社神明	
(2) 地域密着型スーパーと生産者の協働で訴求 株式会社サンプラザ	
(3) 自社系ファームと連携し、誰もが知る外食店舗で訴求 株式会社モスフードサービス	
(4) 学校給食を通じて子供たちや地域へ訴求 島根県浜田市、浜田市立弥栄^{やさか}小学校	
(5) ふるさと納税のお礼品を通じて環境負荷低減をPR 株式会社さとふる	
<u>3. 「みえるらべる」実践のヒント</u>	 24
(1) 多様な起点	
(2) 関係者を広く巻き込む	
(3) 効果的な発信	
(4) 丁寧な取組の紹介	
<u>4. 参考情報</u>	 26

（１）環境負荷低減の取組の「見える化」とは

- 農林水産省は、みどりの食料システム戦略に基づき、生産者の環境負荷低減の取組を評価し、**星の数で分かりやすく伝える「見える化」**を推進しています。
- 「見える化」では、「農産物の環境負荷低減に関する評価・表示ガイドライン」に基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベル（**愛称：みえるらべる**）で表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境づくりを進めています。
- 化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用量、バイオ炭の施用量、水田の水管理などの栽培情報を用いて、定量的に**温室効果ガスの排出と吸収を算定**し、削減への貢献の度合いに応じ星の数で分かりやすく表示します。
- 対象品目は、米、野菜、果実、いも類、茶の23品目であり（令和7年3月時点）、米については、**生物多様性保全の取組の得点に応じて評価**し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて等級表示できます。
- 「みえるらべる」は、星を取得した農産物を原材料とする**加工品でも表示が可能**です。



見る × 選べる
≡
みえるらべる



【みえるらべるに込める思い】

農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」のラベルであることが直感的に連想できるとともに、文字を入れ替えると、「みる」、「えらべる」になっています。

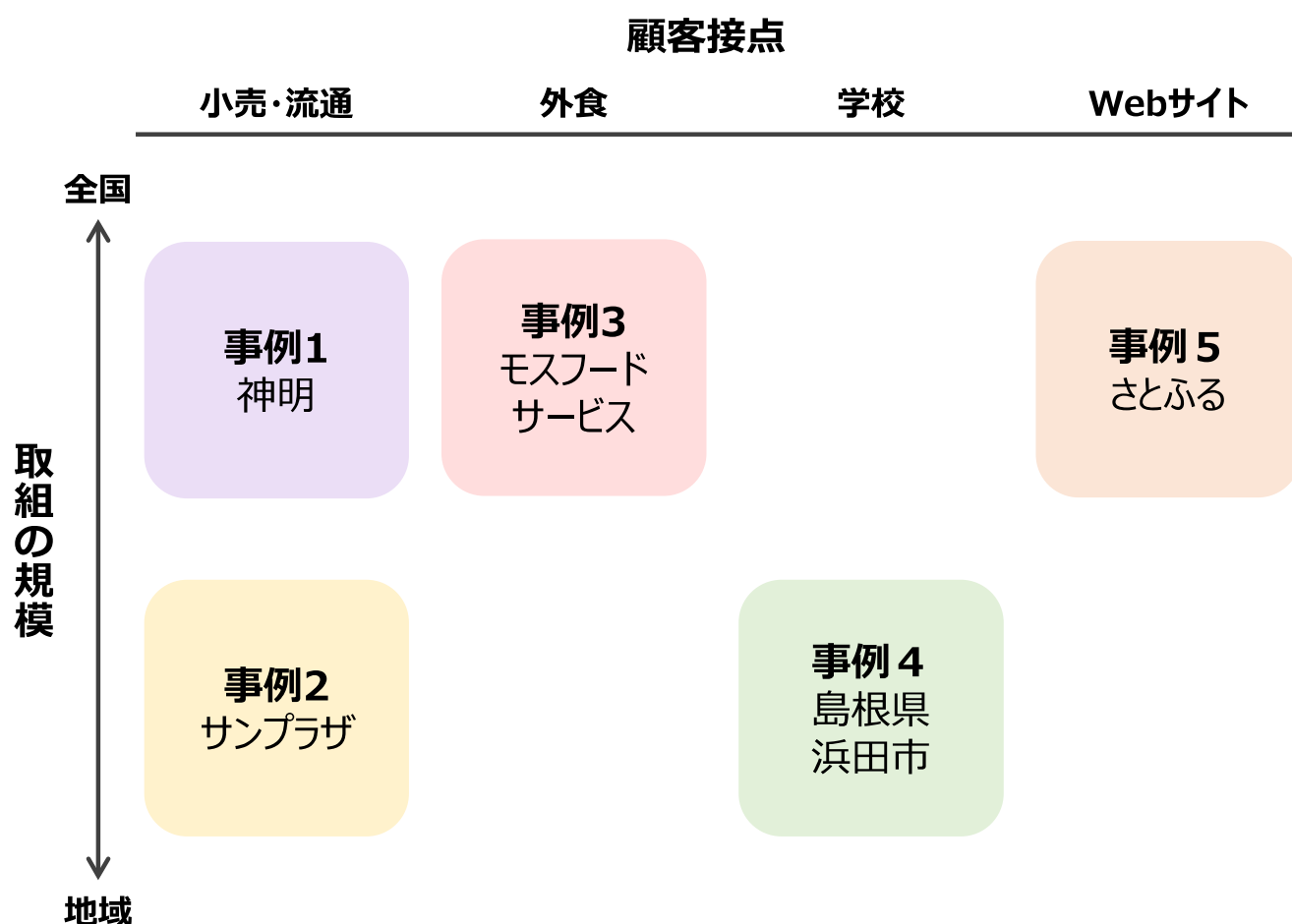
消費者の皆様がこのラベルを「見て」、環境負荷低減に資する農産物を「選べる」ようにという願いが込められています。

（２）本事例集の目的

- 「見える化」は令和6年3月の本格運用開始以降、取組者が着実に増加しています。「みえるらべる」のついた農産物等の取扱いは、小売店舗のみならず、外食チェーンや加工品販売など、多様な業態に広まりつつあります。
- 「見える化」をより一層普及していくことを目的として、環境配慮食品の流通拡大等を検討している事業者が、既存の優良事例から事業展開のヒントを見つけ、取組の拡大や着手をスムーズに進めることができるよう、本事例集を作成しました。

（３）取組事例の全体像

- 読者の皆様にとって参考となる事例を見つけやすいよう、「取組の規模」軸と「顧客接点」軸で事例を整理しました。
- 皆様の事業内容や対象範囲などに応じて、取組の参考にしてください。



2 事例の紹介

顧客接点 小売・流通

取組のひろがり 全国

取組主体：株式会社神明

取組地域：全国

幅広い流通網を活かして全国へ展開

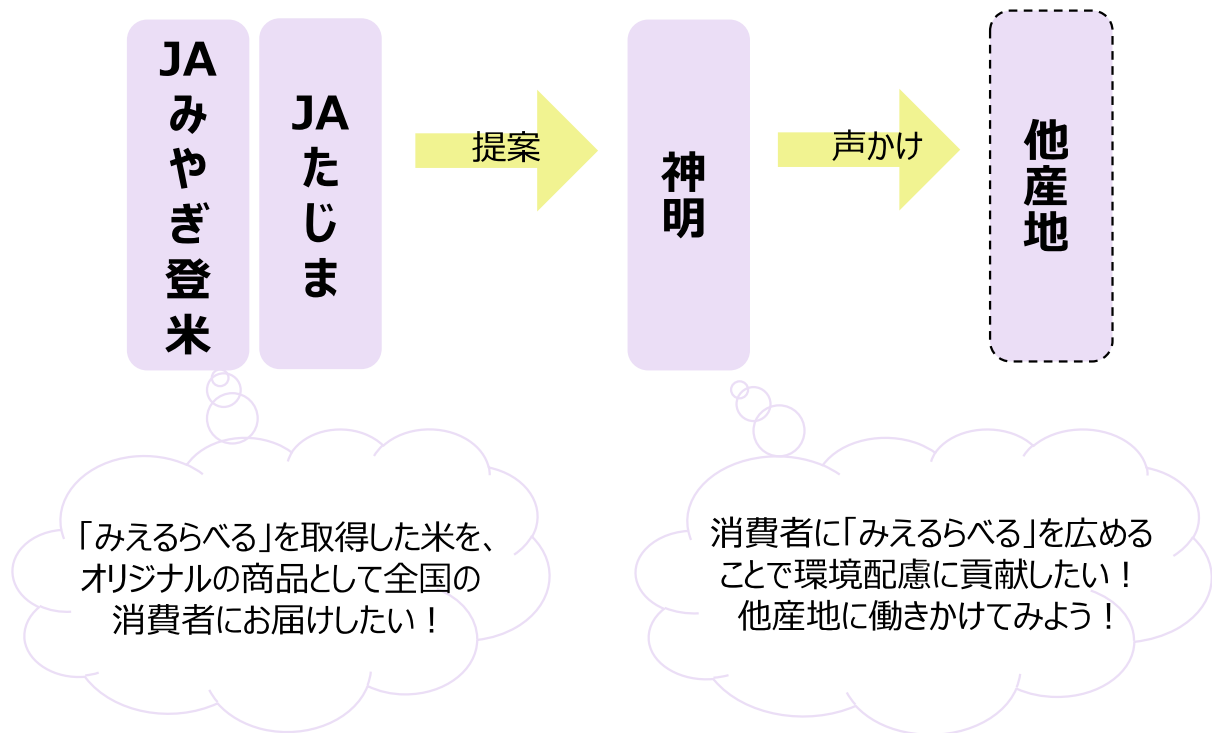


米袋に「見えるらべる」が印刷された米

- 米を中心とした農産物の仕入・販売、加工品の製造・販売を行う卸売事業者
- 「見える化」で星を取得した、宮城県のみやぎ登米農業協同組合（以下、JAみやぎ登米）と、兵庫県のたじま農業協同組合（以下、JAたじま）の2産地の米を、米袋に「見えるらべる」を印刷して全国に販売。
- 産地と消費者をつなぐ幅広い流通網を活かし、店舗販売はイオンを中心に、JAみやぎ登米の「環境保全米」を東日本、JAたじまの「ふるさと但馬米」を西日本で展開するとともに、自社オンラインショップでも「見えるらべる」を表示して販売

きっかけ・目的は何ですか？

生産者から神明へ提案、取組の展開



取組の特徴は何ですか？

1 既存の取引先と連携

- 神明の既存の取引先であるJAみやぎ登米とJAたじまは、元々環境に配慮した取組を積極的に実施しており、農林水産省の「見える化」実証に取り組んでいた産地です。このため、神明による販売展開にも好意的に協力を得ることができました。
- JAみやぎ登米とJAたじまは、地域一体で環境配慮に取り組んでおり、「見える化」の実証時には、地元だけでなくブランド力をもとに東京の飲食店など地域外でもラベル表示して販売するなど、地域を大事にしながら積極的に取り組んでいます。



JAみやぎ登米の産地



JAたじまの産地

2 関係者間の理解浸透を進めたキーパーソンの存在

- 「見える化」に取り組む産地のお米を全国の消費者に届けたい、という強い思いをもった社員が、当時まだ「見える化」の理解が進んでいなかった社内での理解浸透に尽力しました。開発担当や広報担当に「みえるらべる」の大切さを伝えるなど、担当者の思いが会社を動かし、商品開発や普及啓発につながりました。
- 社内に限らず、産地との調整や農林水産省との調整も積極的に行い、各関係者間との関係構築にも尽力しました。

3 ラベル表示の工夫

- 「みえるらべる」を印字したオリジナルの米袋を制作し、新たな商品の販売が実現しました。また、全国に流通可能な数量を有することからも、シールの貼り付けではなく米袋に直接印字する工夫により、手間やコストの削減につながりました。



販売の様子



イオンで見つけました！

4 「みえるらべる」のお米販売に関するプレスリリースを発出

- 生産者の環境負荷低減の取組を広く周知したいという思いから、プレスリリースを制作しました。このプレスリリースが報道やSNS等に取り上げられることで、小売店や消費者にまで周知を進めるねらいもありました。
- 結果、様々な媒体に取り上げられ、実際にプレスリリースを見た小売店から、「みえるらべる」のお米を取り扱いたいという問い合わせがありました。

5 幅広い流通網と様々な商品展開で消費者へ訴求

- 全国に持つ幅広い流通網を活かし、消費者にとって身近な小売店で販売したことで、「みえるらべる」の付いた米を手に取りやすい環境づくりにつながりました。

「みえるらべる」のメリットは何ですか？

- 「みえるらべる」を通じて環境に配慮して生産していることが可視化されたことで、取引の拡大にもつながっています。
- 一部の小売店からは、店内で調理販売する弁当に「みえるらべる」のお米を使いたいという問い合わせがありました。また、プライベートブランド商品を納入している取引先からは、「みえるらべる」を取得したお米と同じ原料を使っている商品に「みえるらべる」を貼りたいという要望がありました。

今後どのような工夫や展開を行いますか？

- 消費者が「みえるらべる」を見つけやすい売り場づくりが大切です。米卸としてできる限り、小売店の方々に売り場づくりの工夫をお願いするよう働きかけていく予定です。
- 今回の取組を通じて「みえるらべる」を展開する取組手法のフォーマットができたため、他の産地にも声掛けを進めています。また、お米以外の農産物にも横展開するため、取引先の青果の生産者に対しても協力依頼していく予定です。
- 「みえるらべる」は農産物だけでなく加工品にも使用できるため、お米を使ったパックご飯のパッケージに「みえるらべる」を印刷して販売する計画です。また、お米に限らず米菓などの加工品への横展開も将来的に計画しています。様々な商品に展開することで、「みえるらべる」が消費者の目に触れる機会を増やすことが大切と考えています。



取組者の声

今回の取組を通じ、どうすれば環境負荷低減に関する取組や生産者の想いを消費者に届けられるかを考えるきっかけになりました。プレスリリースも「商品の背景にある取組を知ってほしい」という想いを込めて文章を考えました。生産者には、「見える化」に取り組むことで「環境配慮の取組を消費者にPRできる」「だから作り甲斐がある」「これからも生産を続けたい」と思ってもらえるよう、努力の付加価値を生産者にお返し続けられるような会社でありたいと考えています。



(株式会社神明 担当者)

顧客接点

小売・流通

取組主体：株式会社サンプラザ

取組のひろがり

地域

取組地域：大阪府、奈良県

地域密着型スーパーと生産者の協働で訴求

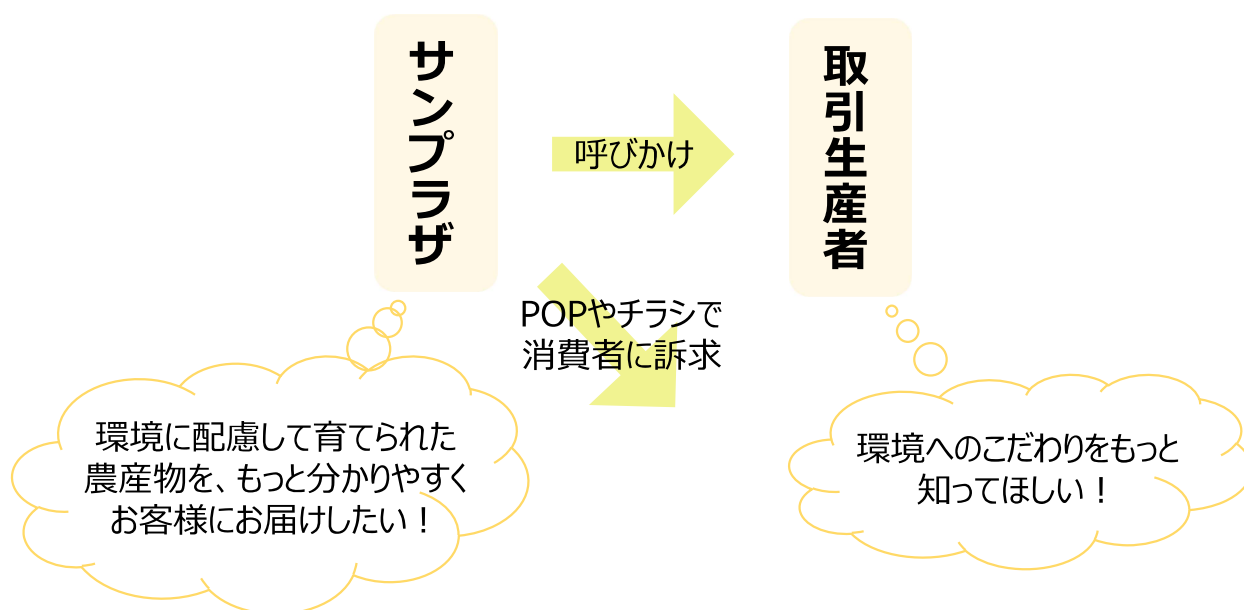


「みえるらべる」商品の特設売り場の様子

- 大阪府・奈良県でスーパーマーケットを展開
- 四半世紀にわたって、有機農産物など環境に配慮した商品を販売
- 「みえるらべる」を取得した農産物を通年で複数品目（米・トマト・きゅうり・なす・玉ねぎ・白ねぎ・みかん・さつまいも・もも）取り扱うとともに、「みえるらべる」農産物を使用したおにぎりや総菜などの加工品を販売
- 生産者とお客様が直接コミュニケーションをとれる機会を設けたり、地域ポイントと連携し、「みえるらべる」を通じて温室効果ガス削減や生物多様性保全の取組を訴求

きっかけ・目的は何ですか？

サンプラザから生産者へ呼びかけ



取組の特徴は何ですか？

1 通年で特設コーナーを設置

- 各店舗で出入口付近の目立つ位置に「みえるらべる」の特設売り場を設置し、通年で「みえるらべる」農産物を販売しています。（左ページ写真参照）
- 農産物に「みえるらべる」を貼るほか、POPで「みえるらべる」商品であることをPRしています。POPでは環境に配慮した栽培方法等を紹介しています。
- 店舗で生産者と消費者が直接コミュニケーションを取る機会を設けています。

2 「みえるらべる」農産物を使った総菜等の販売

- 「みえるらべる」農産物を使用したおにぎり、弁当、総菜を販売し、POPで「みえるらべる」をPRしています。おにぎりのパッケージには「みえるらべる」を印刷しています。



「みえるらべる」野菜を使った総菜



「みえるらべる」を印刷したおにぎり

3 地域ポイントと連携

- 大阪府が実施している、脱炭素に資する商品を購入した際にポイントを付与する「おおさかCO₂CO₂（コツコツ）ポイント+」と連動しており、「みえるらべる」商品を購入した際には、サンプラザの通常ポイントに上乗せしてポイントが付与されます。これにより、消費者に対し環境に配慮した商品の購入を促しています。



「みえるらべる」を取得したみかんを購入すると
ポイントを追加付与

4 社員教育への活用

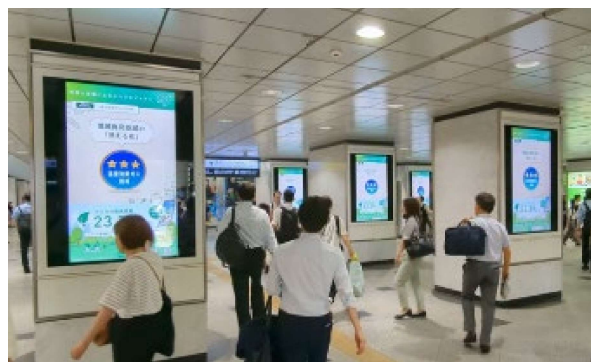
- サンプラザ社全体で環境に対する意識を向上するため、店長会議などで定期的に「みえるらべる」の議題を出し、従業員の「みえるらべる」の取組に対する理解浸透を図っています。

5 様々な媒体でPR

- 新聞折込チラシへの掲示、公共交通機関や大阪駅のデジタルサイネージ、ラジオ放送、各種関連セミナーにおいて取組を紹介しています。
- 「みえるらべる」の取組を紹介する動画を作成し、自社のYouTubeチャンネルで公開しています。動画は、持続可能な取組動画を表彰する「サステナワード」において、2023年に「脱炭素賞」、2024年に「支え合い賞」を受賞しました。



チラシでも「みえるらべる」をPR



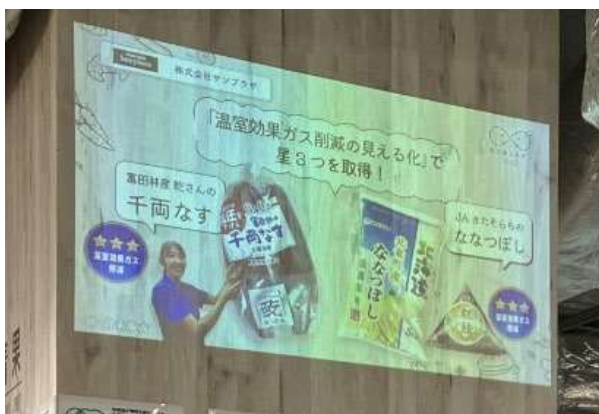
大阪駅のデジタルサイネージで発信

「みえるらべる」のメリットは何ですか？

- ・ 「みえるらべる」によって、これまで価値を伝えることが難しかった、環境に配慮した生産者や商品にスポットをあてることができています。
- ・ 「見える化」の算定シートは簡単に入力できるため、生産者にとって過剰なコストや手間がなく取り組むことができます。

今後どのような工夫や展開を行いますか？

- ・ お客様に対し、より効果的に「みえるらべる」を訴求するため、掲示物のサイズ、掲示方法等について社全体で基準を作り、全店舗で共通した展開ができるよう改善を進めています。
- ・ 店舗に50インチのデジタルサイネージ（液晶ディスプレイ）を導入し、「みえるらべる」の訴求強化を図ります。
- ・ 生産者にご協力いただきながら、「みえるらべる」農産物の取扱品目を増やしていく予定です。



デジタルサイネージを活用した「みえるらべる」商品のPR

取組者の声

「みえるらべる」を中心に、地球の環境保全に関わる取組を進めていく中で、店内のマイク放送でもお客様に訴求を実施しているとともに、店舗従業員への教育にもつながっています。
また、「みえるらべる」を通じて商品の価値を知ること、お客様に商品をおすすめできることも増え、今まで以上にコミュニケーションが取りやすくなっています。



(サンプラザ堺東駅前店 松尾店長)

顧客接点

外食

取組主体：株式会社モスフードサービス

取組のひろがり

全国

取組地域：全国

自社系ファームと連携し、誰もが知る外食店舗で訴求

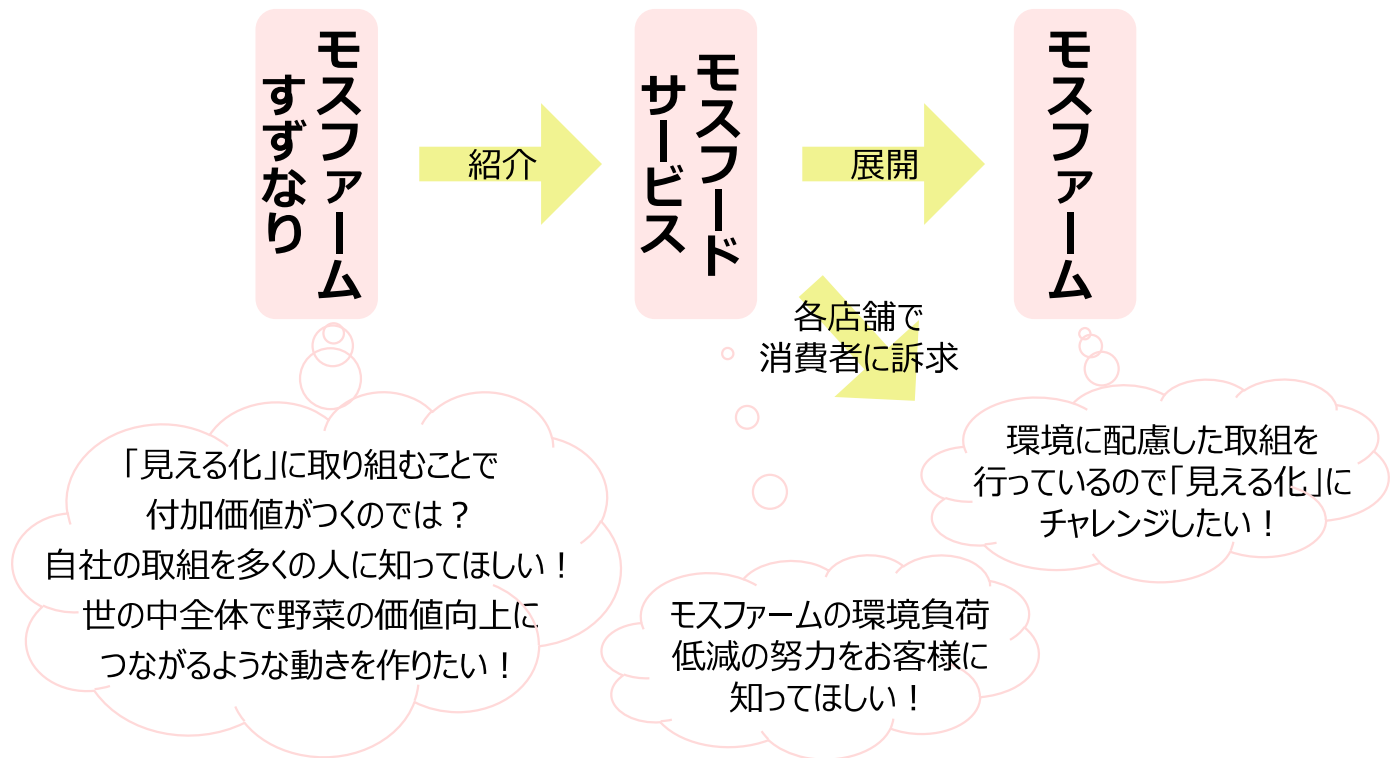


「みえるらべる」を表示したポスターとモスファームすずなりのレタスほ場

- 全国にチェーン展開するハンバーガーショップ「モスバーガー」を運営
- 国産野菜にこだわり、より安定的に生野菜を届けるため、契約農家との共同事業としてモスファームを全国7社・10圃場で展開
- 従来から環境に配慮した農業を行っているモスファームの中で、「モスファームすずなり 静岡磐田農場」、「モスファームすずなり 広島安芸高田農場」がレタス栽培で「見える化」に取り組み、星を取得
- モスバーガー店舗で「みえるらべる」を表示し、消費者に広く訴求

きっかけ・目的は何ですか？

「モスファームすずなり」からモスフード本社に紹介 本社から他のモスファームへ取組を展開中



取組の特徴は何ですか？

1 G7広島サミットでのプレイアアップ°

- モスファームすずなりが、2023年のG7広島サミットを契機に、農林水産省が実施する「見える化」実証に参加しました。
- 実証ラベルを取得したレタスは、G7広島サミットにおいて、モスフードサービスが提供するハンバーガーに使用されました。



「見える化」実証ラベルを取得したレタスを使ったハンバーガー

2 野菜掲示板での発信

- レタスが店舗に納品される際、ラベル取得のレタスであることが同時に情報提供されます。
- 届いた店舗では、その日に使用する野菜を告知する「野菜掲示板」にラベルを掲示して、お客様に周知しています。



野菜掲示板

3 全国のもスファームにラベル取得を働きかける

- 全国のもスファームに対し、「みえるらべる」の概要とこれまでのもスファームの取組を紹介する説明会を実施し、広島に続いて静岡・長野でもラベルの取得が拡大しました。

4 多様な媒体で紹介

- これまでのラベル取得についてプレスリリースを配信し、メディアで紹介されました。また、モスバーガー公式サイト内の「モスの森」で、環境推進の取組の一つとして記事を掲載しました。



モスの森

もスファームすずなりの環境に配慮した取組



環境配慮の取組を行いつつ、モスバーガー各店舗から「品質が良い」との声が多いレタスを生産する、もスファームすずなり。

環境負荷低減のために、どのような工夫をされているのでしょうか。

- ✓ 地域の有機資源（鶏糞など）を活用した肥料を使用
- ✓ レタスの収穫後、枝豆を無肥料で栽培することで土づくりに活用
- ✓ 気候に応じて、農薬の使用量を最小限に抑制（県基準の半分以下）

畑からGHGを削減できる環境づくりを目指し、今後も品質を担保しながら、環境に配慮した取組を進めていきたいとのことです。



「みえるらべる」のメリットは何ですか？

- ・ 店舗の野菜掲示板での「みえるらべる」POPの掲示を通じて、お客様にモスファーム（広島、静岡、長野）が従来から行っている環境負荷低減の取組を伝えることができました。
- ・ プレスリリースや自社媒体を通じて、環境価値を広く知らせることができました。
- ・ 「みえるらべる」取得野菜であることが、取引先との価格交渉で活用できました（モスファームすずなり）。

今後どのような工夫や展開を行いますか？

- ・ 全国各地のモスバーガー店舗で「みえるらべる」を展開していく予定です。
- ・ レタス以外にトマトでも「みえるらべる」の取組を検討していきます。
- ・ 全国のモスファームだけでなく、モスバーガー契約農家に「みえるらべる」の情報を共有していく予定です。
- ・ SNS等を活用した「みえるらべる」取組の発信を検討します。
- ・ 消費者に接する店舗スタッフに対して、産地や環境に配慮した栽培方法の情報を共有し、理解を深めていきます。

取組者の声

「みえるらべる」の取組により、野菜の価値向上ができたかと考えています。実際、「みえるらべる」を取得した野菜であることを取引先との価格交渉の材料にすることができました。

（モスファームすずなり 鈴木貴博氏）



広島県（モスファームすずなり）を皮切りに、消費者の方にモスファームの取組を紹介することができました。

モスファーム全体のうち、「みえるらべる」星3つを2圃場で取得でき、取り組んでよかったと感じています。

モスファームは全国各地で様々な条件下で栽培をしているため、水平展開には課題もありますが、「みえるらべる」の拡大に向けて今後も取り組んでいきたいです。

（アグリ事業グループ 近澤太輔氏）

顧客接点

学校・会社

取組のひろがり

地域

やさか

取組主体：浜田市、浜田市立弥栄小学校

取組地域：島根県浜田市

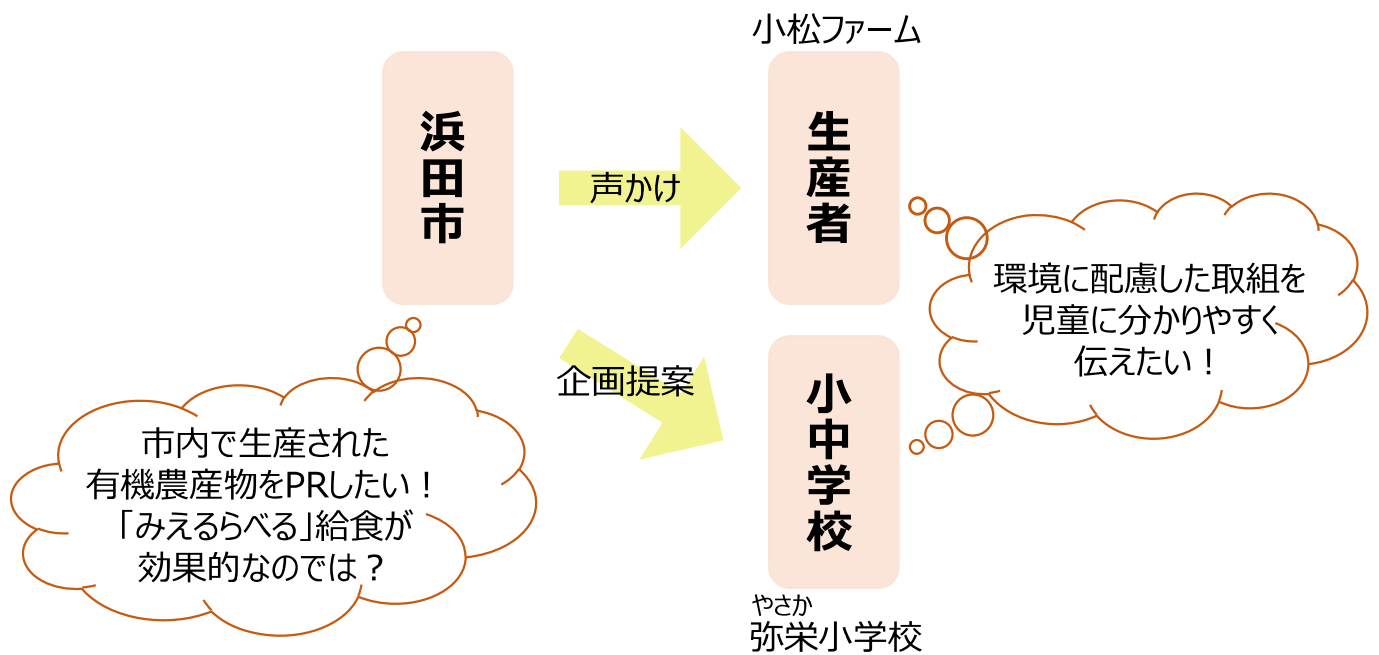
学校給食を通じて子供たちや地域へ訴求



- 島根県浜田市では、オーガニックビレッジ宣言を行うなど環境に配慮した農業を推進
- 毎年12月8日の「有機農業の日（オーガニックデイ）」の取組週間に合わせ、令和6年12月に市内の11の小中学校において、「みえるらべる」を取得した有機にんじんを使用した「みえるらべる」給食を提供
- 環境教育に力を入れる浜田市立弥栄小学校では、5・6年生に「みえるらべる」を紹介するとともに、にんじん生産者から環境に配慮した栽培方法について説明し、児童の環境に対する理解を醸成

きっかけ・目的は何ですか？

浜田市から生産者・小中学校へ声かけ



取組の特徴は何ですか？

1 「みえるらべる」に関する授業と給食での実食を連続実施

- にんじん生産者を招いた授業において、「みえるらべる」の概要説明とともに、「もみ殻燐炭」を活用した環境にやさしい栽培方法の説明を行いました。
- 児童はにんじん生産の背景や取組内容を知った上で「みえるらべる」給食を食べたことで、環境への配慮やおいしさを一層体感することができました。



生産者からの説明の様子

2 「総合的な学習の時間」での環境教育

- やさか 弥栄小学校では、「総合的な学習の時間」において隔年で有機農業をテーマとした授業を行っています。また、農業体験を実施するなど、日頃から環境に配慮した農産物に触れる機会を作っています。
- こうした環境教育の延長として「みえるらべる」給食を提供したことで、児童の理解と興味を一層定着することができました。



「みえるらべる」給食の準備

3 食育だよりで保護者に向けて発信

- 児童だけでなく保護者にも取組を知ってもらうため、児童・保護者向けに発行している「食育だより」で「みえるらべる」を分かりやすく紹介しました。



「みえるらべる」を紹介した
「食育だより」

4 地元野菜を活用

- 学校給食に地元野菜を使うことで、地域への訴求につながりました。
- 今回給食に提供されたにんじんは、今後、浜田市内のスーパーマーケットでも販売を予定しており、「みえるらべる」給食を食べた児童が「みえるらべる」に気づき、購入につながることを期待できます。



小松ファームのにんじん

5 メディアを通じたPR

- 今回の授業の様子は、複数メディア（山陰中央新報、日本農業新聞、農業共済新聞、BSS山陰放送）で報道されました。
- 島根県や周辺地域の多くの人に、「見える化」や環境にやさしい農業を知ってもらうきっかけとなっただけでなく、他の地域の学校給食で「見える化」に取り組む際の参考事例になりました。



山陰中央新報の記事

「みえるらべる」のメリットは何ですか？

- 「みえるらべる」の説明・「みえるらべる」給食の提供後、児童にアンケートを実施しました。

Q.「みえるらべる」の内容はわかりましたか？

はい！
(約 9 割)

Q.「みえるらべる」の食べ物を選びたいですか？

はい！！
(8 割以上)

Q.「みえるらべる」給食をまた食べたいですか？

はい！！！！
(全員)



「みえるらべる」パネルを持った児童

- アンケートでは、「みえるらべる」給食をまた食べたい理由として、「環境にやさしいから」と回答する児童が複数名いたことから、児童の環境負荷低減の取組への理解醸成につながったと考えられます。

今後どのような工夫や展開を行いますか？

- ^{やさか} 弥栄地域では「もみ殻燐炭」を利用した栽培が増えてきているため、今後、こうした生産者に働きかけることで、多品目で「みえるらべる」を取得することにより、「みえるらべる」給食のラインナップ拡大（例：カレーライス）を目指しています。
- 「みえるらべる」を通じて、環境によい取組を行っている地域の良さを広く伝えていく考えです。特に弥栄地域では、保育園留学の検討も行っており、他地域の子供たち・保護者等に広く伝えるきっかけになることを期待しています。

取組者の声

「みえるらべる」という愛称を押し出した取組は、子供だけでなく大人にとっても分かりやすいです。授業や給食を通じて、児童に環境配慮の重要性を伝えることができたと思います。環境に良い取組をしていても、他地域との差別化することは容易ではありませんが、「みえるらべる」という全国に通じる指標により、児童に地域の良さを伝えることができて良かったです。



(浜田市役所 担当)

顧客接点

Webサイト

取組主体：株式会社さとふる

取組のひろがり

全国

取組地域：全国

さとふると納税のお礼品を通じて環境負荷低減をPR



■ さとふると納税サイト「さとふる」を運営

- 茨城県、^{かわちながの}大阪府河内長野市、^{やまとこおりやま}奈良県大和郡山市、^{ながはま}滋賀県長浜市、香川県さぬき市、^{ないえちよう}北海道奈井江町のお礼品として、「みえるらべる」を取得した米、いちご、ほしぶどう※、野菜詰め合わせなどを提供

※ほしぶどうの原料のぶどうで「みえるらべる」を取得

- 「みえるらべる」を取得したお礼品の特集ページを令和6年12月に公開
- 特集ページでは、「みえるらべる」を紹介するほか、生産者の声を掲載し、環境負荷低減の取組や工夫を訴求

きっかけ・目的は何ですか？

さとふる社から生産者へ声かけ

さとふる

特集ページへの
掲載を打診

パート
ナー
生産者

「みえるらべる」取得済

多くの消費者に環境にやさしい
お礼品を知ってもらいたい！
「見える化」に取り組む
生産者を応援したい！

STEP 1

さとふる社にて、農林水産省HP上の「みえるらべる」を取得した生産者・団体と、さとふる社のパートナー生産者の情報を確認

STEP 2

特集ページへの掲載を生産者に確認の上、お礼品を決定

取組の特徴は何ですか？

1 生産者の声の掲載

- ・ 特集ページには、「生産者からの声」として、具体的な環境負荷低減の取組内容を掲載しました。
- ・ 生産者からは、特集でお礼品をご紹介することを喜んでいただきました。



「生産者の声」を掲載した田中ぶどう園

2 需要期における特集掲載

- ・ 需要期の12月に特集ページを公開したため、多くの方にページを見てもらうことができました。
- ・ 特に「さとふる」のキャンペーン開催日にアクセスが大きく伸び、安定してアクセス数がある「ハンバーグ特集」と同等の閲覧数となりました。



特設サイトに掲載しているお礼品一例

3 イベントへの出展で「みえるらべる」訴求

- 令和7年1月25、26日開催の「NIPPON FOOD SHIFT FES.」（大阪府）にて、「みえるらべる」を取得したお礼品（米、ほしぶどう、野菜）をPOP等とともに展示しました。
- 来場者に「みえるらべる」に関するクイズに参加してもらい、楽しみながら「環境にやさしいお礼品特集」について知っていただきました。
- 特集に掲載しているお礼品への寄付につながるよう、特集に配布したクイズ用紙の裏には「環境にやさしいお礼品特集」のWebページへ遷移するQRコードを掲載しました。



ニッポンフードシフトでの出展の様子

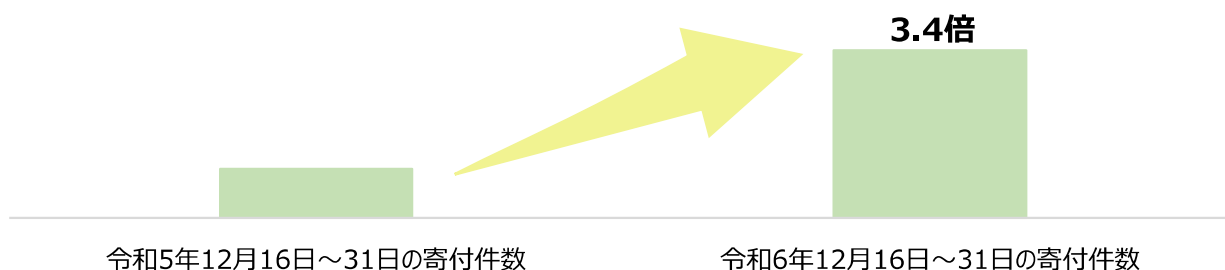
4 メディアを通じたPR

- さとふる社のプレスリリースをもとに、JAcom（農業協同組合新聞）、環境ビジネスオンライン、日刊アグリ・リサーチ、農機新聞、ビジネスメディアの「HEDGE GUIDE」や「AMP」など、8件のメディアにおいて「みえるらべる」特集ページが紹介されました。（令和7年1月14日時点）
- お礼品を扱う自治体である、茨城県の公式X等で特集ページが紹介されました。
- より多くの方に「みえるらべる」を取得しているお礼品に関心を持っていただけるよう、さとふる会員向けにメールマガジンで取組を紹介しました。

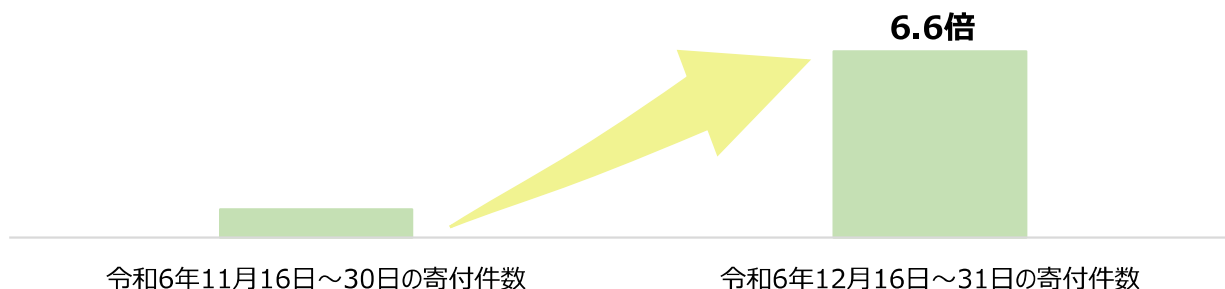
「みえるらべる」のメリットは何ですか？

- 特集ページに掲載したお礼品への寄付件数は、前月同期間比で6.6倍、前年同期間比で3.4倍となりました。これは、「さとふる」に掲載しているお礼品全体の前月同期間比、および米・野菜・果物カテゴリの前月同期間比よりも大きな数字となりました。

昨年も寄付を受け付けていたお礼品への寄付件数



特集ページに掲載したお礼品への寄付件数



今後どのような工夫や展開を行いますか？

- 「みえるらべる」を取得しているお礼品を新たに「さとふる」に登録いただいた際は、順次特集ページにも追加掲載していきます。
- 今後特集に追加するお礼品についても、対象お礼品の画像に「みえるらべる」を掲載し、お礼品ページにも「みえるらべる」を取得している旨を追記することで広くPRしていきます。

取組者の声

特集ページを公開したことで、寄付件数や閲覧数が増加し、大きな反響があったことを実感しています。

今後も、「みえるらべる」の意味や生産者の皆様の環境負荷低減の取組を消費者の方に伝え、選んでいただけるようにすることで、「みえるらべる」を取得してよかったと実感いただけるようにしていきたいと思います。



(さとふる 担当者)

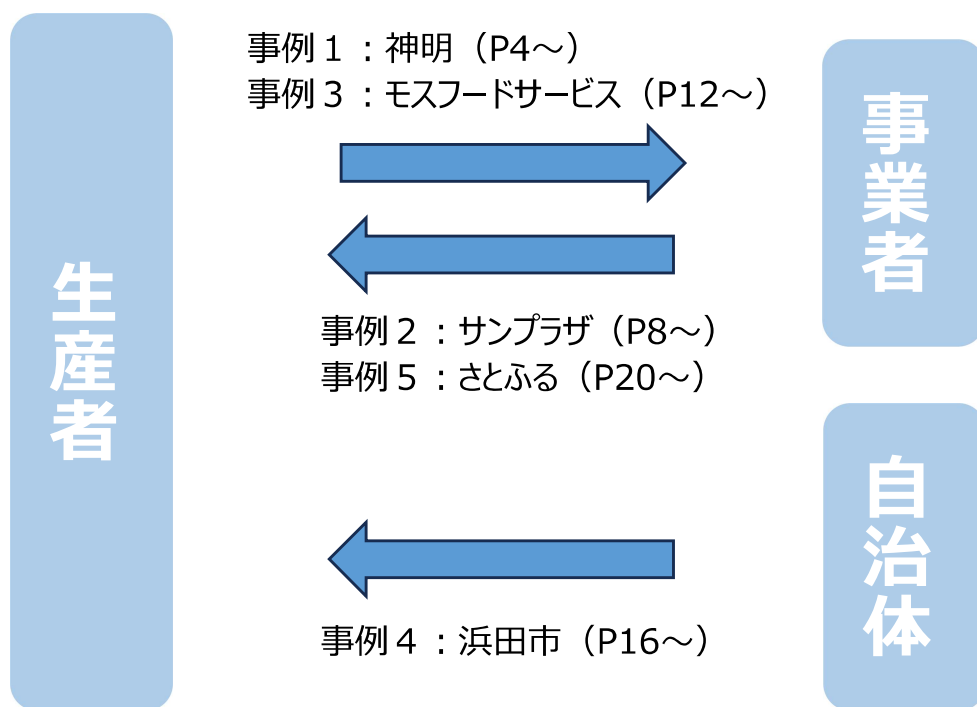
3 「みえるらべる」実践のヒント

本事例集で紹介した5つの事例から示唆される、皆様の取組の参考となるポイントを『「みえるらべる」実践のヒント』としてまとめました。

(1) 多様な起点

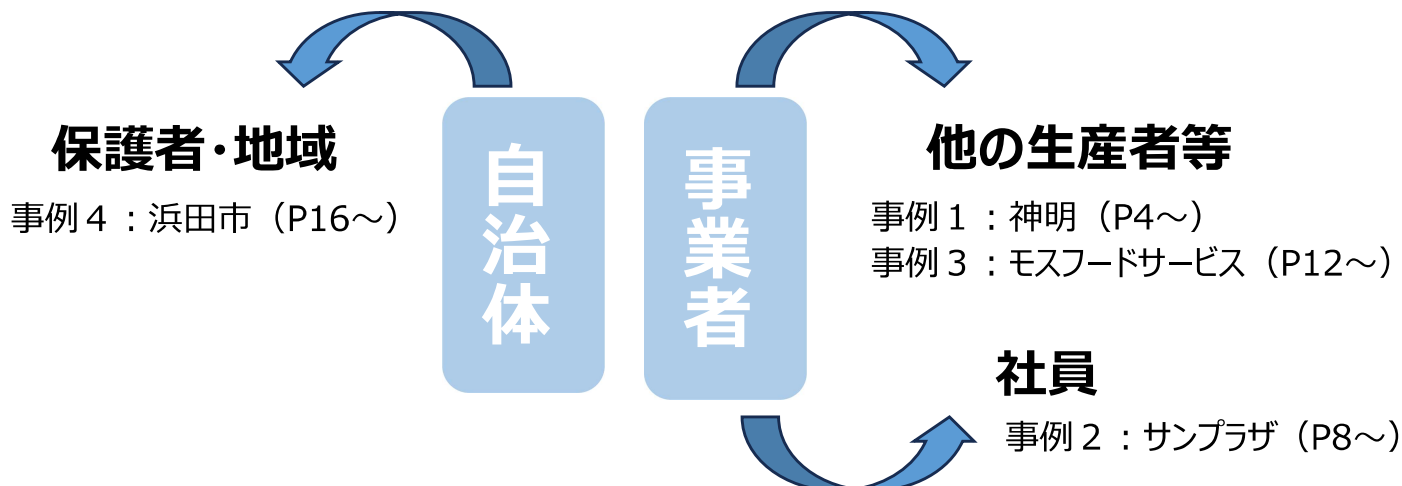
「見える化」に取り組むきっかけの起点は、生産者、事業者、自治体など様々です。
誰もが起点になることができます！

※起点はこれに限りません



(2) 関係者を広く巻き込む

「見える化」の取組を他の生産者・事業者等の関係者に広く紹介し、関わる人を自発的に増やしながら取組の拡大や理解醸成につなげています。



(3) 効果的な発信

消費者が目にする機会が多い時期を狙った広報展開や、自社のプレスリリースや新聞・テレビといったメディアなど様々な媒体で発信し、取組の価値と認知度を高めます。

媒体



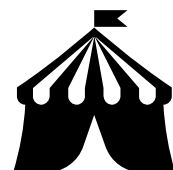
プレスリリース

事例 1 : 神明 (P4~)
事例 3 : モスフードサービス
(P12~)



メディア (TV・新聞等)

事例 2 : サンプラザ (P8~)
事例 4 : 浜田市 (P16~)



イベント出展

事例 5 : さとふる
(P20~)

時機

需要期に特集を開始

事例 5 : さとふる (P20~)

G7を機に「みえるらべる」を表示

事例 3 : モスフードサービス (P12~)

(4) 丁寧な取組の紹介

より多くの人に「みえるらべる」や環境に配慮した栽培方法に興味・関心を持ってもらうため、「みえるらべる」の農産物や商品に関するPOP、生産者の思いを伝えることにより、情報提供を充実させています。



店内POP等を通じた 情報提供

事例 2 : サンプラザ (P8~)
事例 3 : モスフードサービス (P12~)



生産者の声の発信

事例 2 : サンプラザ (P8~)
事例 4 : 浜田市 (P16~)
事例 5 : さとふる (P20~)

こんなところにも「見えるらべる」が広がっています！

おむすび権米衛（東京ほか）：外食

- 事業者から契約生産者（北海道、秋田、福島、茨城、栃木の11生産者）に案内し、HPや店頭ポスター掲示でのラベル表示が実現。
- 東京、千葉、神奈川、埼玉の店舗で実施（農林水産省店でも実施）。



イオン九州（福岡ほか）：スーパー

- 化学肥料を低減して栽培されたにんじんを、福岡県、熊本県などの68店舗で販売。
- 店内のPOPで栽培方法のポイントと見えるらべるを表示。



パルシステム（東京ほか）：宅配

- 首都圏を中心に食材宅配サービスを展開。1都12県でJAたじまのコウノトリ育むお米に「見えるらべる」を貼付して販売。
- 産地の取組を組合員に紹介する情報誌で見えるらべるを発信。
- 今後、ぶどう等の他品目でも表示予定。



ワタミグループ（全国）：居酒屋

- 全国展開する居酒屋等242店舗において、自社グループ農場で有機農業で栽培した「見える化」レタスを使用したメニューを販売。
- 店内のポスターのほか、メニュー表やタブレットで見えるらべるを表示。



「見える化」に取り組む方のお声を紹介します

生産者

- 「見えるらべる」貼付後、貼付前と比較して販売数が約1.6倍、売上額が約1.7倍となった。他店舗への取引拡大にもつながった。
- 日頃管理している栽培データで簡単に算定ができた。

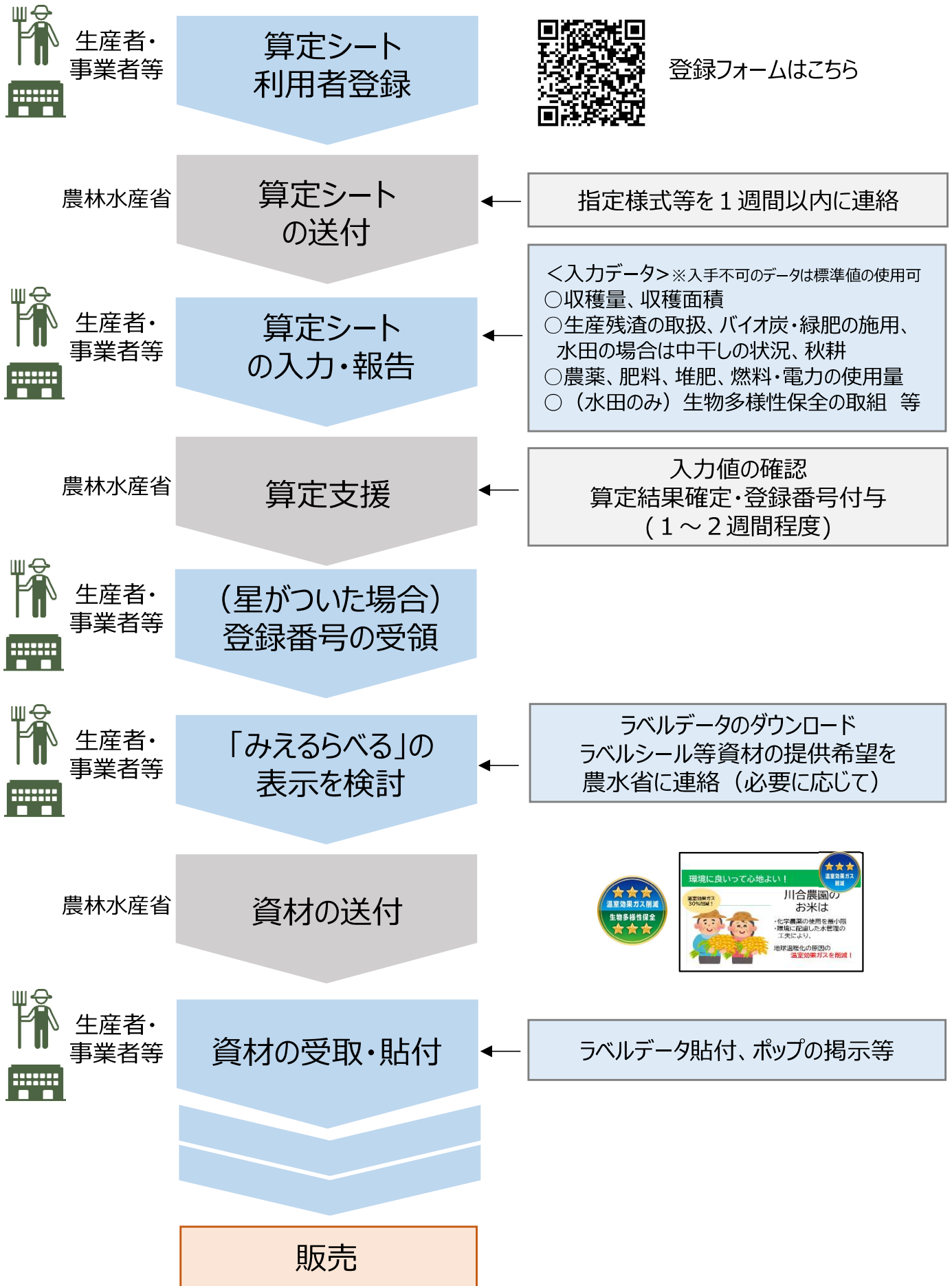
販売・小売事業者等

- 有機JAS認証の取得が難しい生産者でも取組むことが可能であり、今まで消費者に伝えられなかった栽培の工夫や商品価値を表現することができた。

教育機関

- 算定シートを通じて、取組が環境負荷低減に貢献していることを目に見えて実感することができ、それが生徒たちのモチベーションにつながった。他の農業高校への啓発にも取組んでいきたい。（教諭）
- 「見える化」によって自分たちの取組が評価され、達成感につながった。（生徒）

「見える化」に取り組むにはどうしたらいいの？



「見える化」に取り組むために・・・動画でも紹介しています！

「見える化」に取り組む事業者の声や算定シートの使い方の解説動画を作成しました。ぜひご覧ください！

「見える化」説明（事業者の声）

生産者
向け

小売流通
事業者向け

「見える化」の概要説明のほか、実証に参加したレタス生産者である（株）鈴生や首都圏を中心に展開するオーガニック・スーパーマーケットであるビオセボンの声を収録。



環境負荷低減の取組の「見える化」に取り組んでみませんか？

https://www.youtube.com/watch?v=p_2YIpTS7OU



算定シートの使い方解説

生産者
向け

簡易算定シートの入力方法を講師と生産者の会話形式でわかりやすく解説。入力時の注意点やよくある疑問も紹介。



【解説】環境負荷低減の取組の「見える化」簡易算定シートの使い方

<https://www.youtube.com/watch?v=rp8MxsdzcqY>



「見える化」研修会アーカイブ

生産者
向け

小売流通
事業者向け

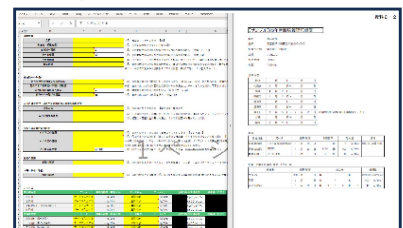
算定シートの入力演習や、「見える化」に取り組む生産者の事例紹介等を行った研修会の様子を公開。

算定シートと栽培データを投影しながら入力シミュレーション



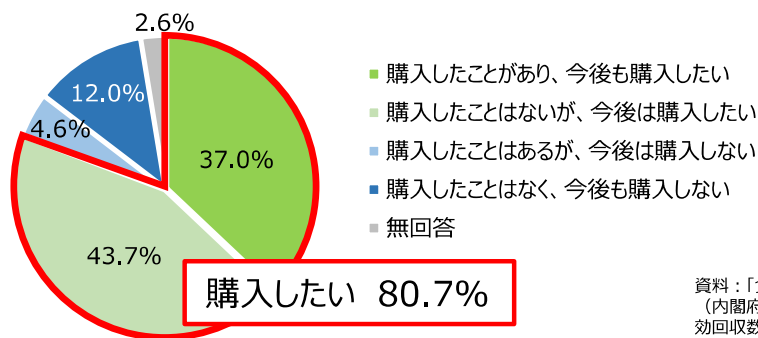
令和6年度農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」研修会アーカイブ動画

<https://www.youtube.com/watch?v=ZkUHiojvEgE>



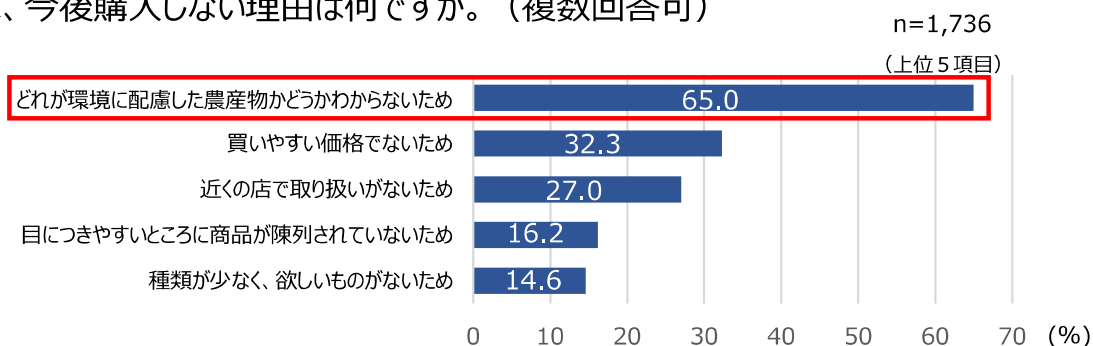
環境に配慮した農産物に対する消費者の意識が高まっています！

問 環境に配慮した生産手法によって生産された農作物を実際に購入したことがありますか。



資料：「食料・農業・農村の役割に関する世論調査」
(内閣府、令和5年9月14日～10月22日実施、有効回収数2,875人)を基に農林水産省作成

問 環境に配慮した生産手法によって生産された農産物の購入について、購入したことがない、または、今後購入しない理由は何ですか。(複数回答可)



「見える化」の海外発信にも取り組んでいます！

輸出やインバウンド需要を見据え、英語版「みえるらべる」(愛称：ChoiSTAR (チョイスター))を作成しました。



Your **Choice** boosts
SusTainable AgRiculture

～あなたの選択が持続可能な農業を後押しします～

ChoiSTAR

【ChoiSTARに込める思い】

Choice (選ぶ) とSTAR (星) を掛け合わせています。STARには、**SusTainable AgRiculture** (持続可能な農業) と「みえるらべる」を特徴づける星の意味が含まれています。消費者の方々に「みえるらべる」のSTAR (星) を目印に環境に配慮した農産物を選んでいただくことで、Sustainable Agriculture (持続可能な農業) を後押ししてほしいという願いを込めました。

みどりの
食料シス
テム戦略